

県内の遺跡3 **あやめづか 菖蒲塚古墳**

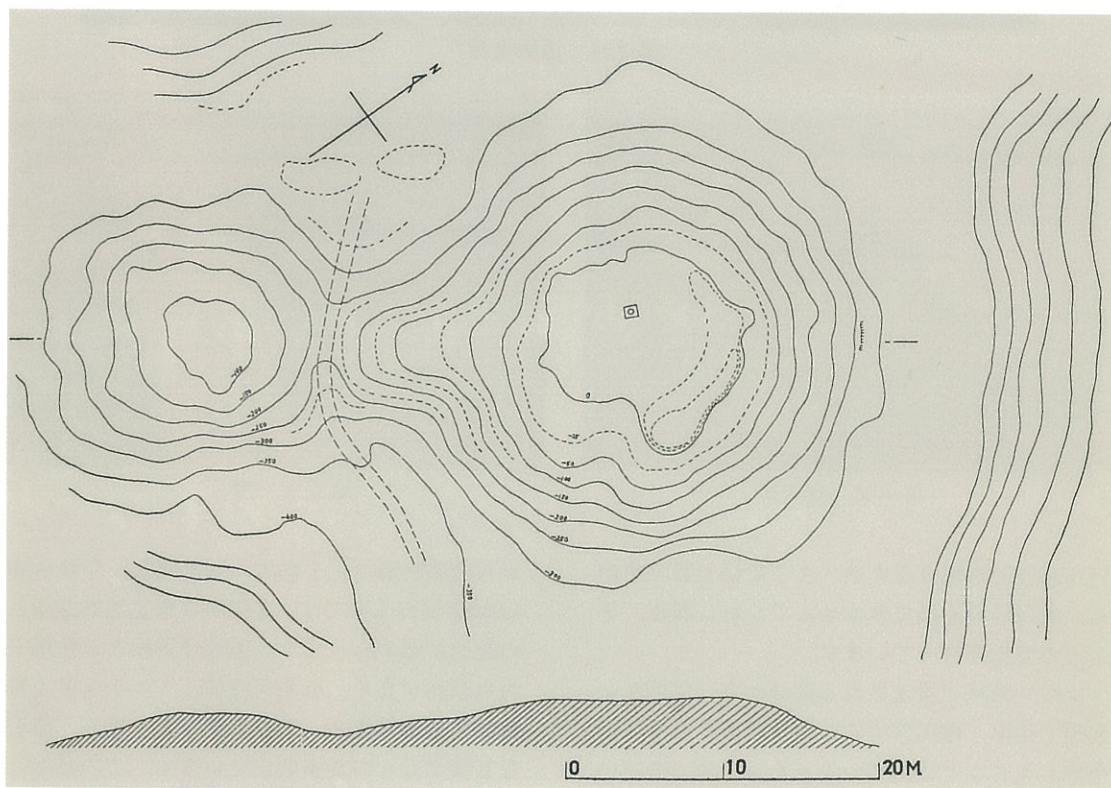
国指定 昭和5年4月25日

所在地 西蒲原郡巻町大字竹野町

この古墳は、角田山の東麓に発達した丘陵上に位置する、県内最大（全長約54m）の前方後円墳です。造られたのは、4世紀前半から中頃と推定され、この地域の豪族の墓と考えられています。江戸時代に盗掘され、内部の詳細は不明でしたが、副葬品と考えられる甕鏡は、昭和37年に県の文化財に指定され、勾玉や管玉も見つかっています。



菖蒲塚古墳現況



菖蒲塚古墳 巻史学会蔵 1959. 6. 17測

上原甲子郎、樋口弘雄 1961「菖蒲塚古墳」『巻町双書③』巻町役場

あとがき

今年の現地調査も、12月10日の屋敷田遺跡の撤収をもって無事終了しました。貴重な発掘の成果は、2月の報告会で明らかにされることでしょう。

しかし各調査員は、図面や出土した遺物の整理や遺構カードの作成など、報告書の発行に向けて、眼の回るような毎日が続きます。(K)

埋文にいがた No.5

発行 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
〒951 新潟市一番堀通町5923番地46
TEL (025) 223-5642
FAX (025) 228-1762

印刷 有限会社 双葉印刷